

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	鳥居 宣之 教授 宇野 宏司 教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日 ・ 時 間	月曜 1・2 限目 (9:00~10:30)
履 修 条 件		募 集 人 員	5 名程度
教 室	中講義室 2	連 絡 先	Tel:078-795-3322 Email: office-gk@kobe-kosen.ac.jp (学生課教務ライン)
授 業 形 態	対面		
授 業 方 法	講義		
学 習 目 標	自然災害の誘因となる大気現象（気象）とそのメカニズム・予測手法ならびに観測手法、自然災害の誘因となる地震の基礎知識、我が国における都市防災対策とその変遷、都市で起こりうる災害のメカニズム、都市で起こりうる災害に対する防災・減災対策、減災対策の手法であるハザードマップについて説明できることならびに「我が家のハザードマップ」を作成できること。		
授 業 概 要	我が国は様々な自然的・社会的条件から災害が発生しやすい環境下に置かれている。特に、人口・資産が集積した都市においてひとたび大規模な災害が発生した場合には、人的にも物的にも甚大な被害が発生することが予測される。本講義では、都市を災害から守るための取り組み方とその変遷について学習する。		
授業時間学習以外の学習（準備学習含む）			
授 業 計 画	1	近年の我が国における自然災害	
	2	我が国における都市防災対策とその変遷	
	3	災害気象学（1）	
	4	災害気象学（2）	
	5	神戸市域で発生した風水害	
	6	地震の基礎知識	
	7	神戸市域で発生した地震災害	
	8	中間試験	
	9	中間試験の解説，災害と危機管理	
	10	企業防災・地域防災	
	11	災害情報（1）	
	12	災害情報（2）	
	13	災害情報（3）	
	14	災害情報（4）	
	15	「我が家の防災マップ」報告会	
評 価 方 法	成績は、試験 70%、レポート 25%、プレゼンテーション 5%、として評価する。試験成績は 2 回の試験（中間試験・定期試験）の平均点とする。		
教 科 書	講義時に適宜配付する講義資料		
参 考 図 書	「防災工学」：石井一郎編（森北出版） 「地震・高潮・山崩れー自然災害入門」：塩田修（新風舎） 「これからの防災・減災がわかる本」：河田恵昭（岩波ジュニア新書） 「暮らしと自然災害」：後藤 恵之輔ほか（電気書院） 「都市と防災」：目黒公郎，村尾修（放送大学教育振興会）		
特 記 事 項	履修にあたってレポート課題は、提出期限を厳守すること（内容の不備や提出遅れは、減点）。 出席回数 2/3 以上の者に対してのみ成績を評価する。		